

助成事業実施報告書

団体名 八王子市民のがっこう「まなび・つなぐ広場」代表者・役職名 氏名 花崎 晶 (共同代表)

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

八王子 くらしつながるわくわくタウンマップ作成&持続可能な地域づくりを学ぶワークショップ

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

東日本大震災以降、子どもたちの未来を懸念し、持続可能な社会のあり方について学び、地域でできることを始めたいという市民が集い、連続講演会、学習会を開始。市民発のひらかれた学習活動を継続的にを行い、より地域の出会いを広げたいと、2014年、「八王子市民のがっこう『まなび・つなぐ広場』」を設立。以来、毎年様々な講座やワークショップを開催しています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

2015年度に「持続可能な食と農」のテーマ、2016年度は「フェアトレード」をテーマに、10回の講座と4回のイベントを開催した。講座を通して、地域の地産地消や福祉事業などの地域資源とつながり、その豊かさに気づいた。また日本のフェアトレードタウンの先進事例などについて学習した。現在八王子地域において、そのような魅力的な地域のリソースを一覧できる資料や情報はなく、より多くの市民に伝えるために、イラストマップの作成をしたいと思います。マップ作成に先立ち、持続可能な社会づくりについて学ぶ参加型の講座を行い、マップ作成の参加者を募り、作成自体を参加型で進めていきたいと考えています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

持続可能な地域づくりのためのマップ作成とそれに先立つ講座や調査活動を行った。豊かさや持続可能な社会づくりについて学ぶ連続講座(オープン講座)、他地域の新旧の地域資源を学ぶフィールドワークを実施した。その上で、参加者を募り、実際にまちを歩き(調査)、それを基にマップを作成した。マップ作成は、参加型で進め、参加者と話し合い、掲載内容とデザインを決めた。印刷後、地域の障害者を支えるNPOと仕上げの作業を協働し、無料で配布した。地域の豊かさや魅力の再発見、持続可能な社会のためのエンカル消費(地産地消、フェアトレード、友産友消、ウェルフェアトレード等)の普及・啓発とともに、多世代参加のプロジェクトとして地域内外の人と人とをつなげられたのではないかと考える。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

- ・「つづく地図 はちおうじ」というエリアマップを作成し、2000部印刷し、配布した。連続講座やフィールドワーク、マップ作成プロジェクトの実施回数は合わせて22回で、それらの参加者は延べ100人である。
- ・参加者はマップ作りを通して、地域の魅力を再発見し、「まちの見え方が変わる」体験を得た。自分たちの地域への関心が高まり、さらに持続可能な社会づくりに対する認識や地域を支える人々への関心が高まった。「歩ける圏内」を意識したフィールドワークをしたことで、自分たちのライフスタイルの見直し、消費行動の変化へとつながった。
- ・自分たちの地域の魅力や新たな価値観への気づきを促すことで、地域への理解を深め、関心を持つ人を増やした。さらに新たなつながりやネットワークの形成を促したことで、安心で暮らしやすい持続可能な地域社会の実現に寄与したと考える。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

完成したマップを使ったツアーやイベントを実施し、マップの活用・普及を進め、マップ掲載先と市民とのさらに多くのつながりをつくりたいと考えている。マップ上に、SNSサイトを掲載し、利用した人がさらに新たな情報を寄せることができるような工夫をしたため、マップ利用の感想や情報の提供を通じた交流をおこない、紙のマップだけでなく、さらに発展的な情報更新や豊富化できるマップとして実験的に使っていきたい。今回は八王子駅北口エリアのマップとなったので、また別のエリアを対象に、「つづく地図 はちおうじ第2弾」の作成を行う予定である。今回は、無料配布したため、今後の作成費用の調達は今後の課題だ

が、イベントや講座、ツアー等の実施、自分たちでもフェアトレードの委託販売等を行いながら、人やお金を作り広げていきたいと考えている。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



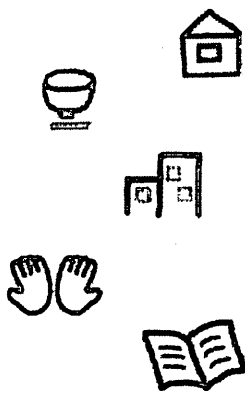
講座の写真



ワークショップの写真



まちあるきの写真



八王子市民のがっこう まなび・つなぐ広場 2017年度後期プロジェクト

「持続可能な地域を描く私たちのマップ作り」

くらし・つながるわくわくマップ(仮)作成メンバーを募集します

今住んでいる地域で、わくわく暮らせていますか？ 出かけたくなる場所、会いたくなる人、知っていますか？ それぞれが自分たちの地域を、暮らしをちょっとよくする、地域に住み続けたい、わくわくするマップがあったら素敵だと思いませんか？ 私たち自身がわくわく暮らして、持続可能な社会を自分たちで作っていくための参加型マップ作成プロジェクトです。関心がある方はどなたでもご参加ください！

◇2017年度後期参加型プロジェクト 2017年9月～2018年3月

◇原則として火曜日の夜 19時～21時 フィールドワークは11月25日(土)終日の予定。

◇全8回/定員10名 ◇参加費 無料(ただしフィールドワークの実費等は各自負担)

◆マップ作成のスケジュール(仮)

第0回 8/22(火)16-18 アミダステーション

マップ作りメンバー顔合わせ、概要、スケジュール調整

第1回 9/19(火)19-21 アミダステーション

私たちが描く地域と暮らし～マップ作成ワークショップ①「どのようなマップにするか？」

第2回 10/31(火)19-21 アミダステーション

地図、マップ、ガイドの作り方ー真鶴出版の方とWS

第3回 11/7(火)19-21 アミダステーション

私たちが描く地域と暮らし～マップ作成ワークショップ②

第4回 11/25(土)10-17 場所調整中

八王子地域の“わくわく”を探そう！ フィールドワーク(マップ掲載候補を訪ねる)

第5回 12/5(火)19-21 アミダステーション

マップ掲載候補を絞り込み

第6回 12/19(火)19-21 アミダステーション

マップ掲載候補の絞り込み、マップデザイン開始

第7回 1/16(火)19-21 アミダステーション

マップ最終デザインコンペ

第8回 2/20(火)19-21 場所調整中

マップ完成記念パーティー、マップ配布開始

11月～12月
メンバー各自
候補地の取材

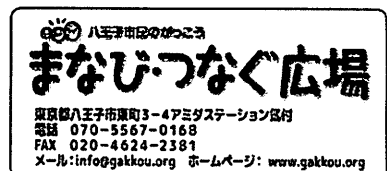
デザイン→検討→
修正を繰り返す

*スケジュールは変更する可能性もあります。

お申込み・お問い合わせは

八王子市民のがっこう「まなび・つなぐ広場」

manabi.tsunagu@gmail.com TEL070-5567-0168



このプロジェクトは真如苑 2017 年度多摩地域市民活動公募助成を受けて実施しています。